SCIBORG

HV-300 取付・取扱説明書

ハイブリッド車専用バックアラーム（車速ロック付）

適合車種（2015年5月15日現在）：
30系プリウス、35系プリウスPHV、4＃W系プリウスα、10系アクア、10系SAI、50系カムリハイブリッド

この度はHV-300ハイブリッド専用バックアラーム（車速ロック付）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しい取扱い方法によりご使用いただけますようお願いします。
この取扱説明書は大切に保管してください。

Ver.15515

製造元　株式会社キラメック
〒475-0936　愛知県半田市板山町9丁目183番地1
お問い合わせ先 ： 0120-504-980（土、日、祝祭日、当社休業日を除く AM10:00 ~ 12:00・PM10:00 ~ 4:00）

使用上の注意

ご使用の前に下記の注意事項を必ずお読みください。

⚠ 危険 下記の状態や場所での使用は避けてください。事故・火災等の危険性があります。

本製品に付属している専用ハーネスおよびコネクターはHV-300専用です。HV-300以外の接続目的で電源や信号をHV-300専用ハーネスから分岐すると、車両故障や車両火災の原因となることがありますので、絶対にやめてください。

⚠ 注意 下記の使用には十分注意してください。車の故障又は本製品の機能面に支障を起こす可能性があります。

■本製品は日本国内のみで使用できます。海外では使用しないでください。
■本製品を改造すると、本製品や車両の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。
■本製品は本説明書に記載された適合車種にのみ取付可能です。それ以外の車両へ取付を行うと、車両または本製品の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。
■本製品の設置・固定は、車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には行わないでください。特に車両の機器の性能を損なうような取付を行うと、本装置の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。
■本製品を水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管、設置すると火災、感電、故障の原因になりますので絶対にやめてください。
■日本国内正規ディーラー車のみの対応となります。
■本製品の動作の有無に関わらず弊社では交通事故等の責任は一切負いません。
■本製品の仕様、デザインは改良のため予告無く変更する場合があります。
■本製品の取り付けは、必ず専門知識・設備のある取扱業者で行ってください。
■本製品は当社が製造する他のDigi-Link製品と併用することができます。他社CAN-BUS製品との併用はできません。

■製品の主な特徴

○ 車両のイグニッション、ギアポジション、車速、およびEVモードの状態を検知し、コントローラーの設定に従ってアラーム音を発します。
○ アラーム音は本体DIPスイッチでON/OFF可能です。
○ アラーム音は本体DIPスイッチの設定で長音、短音の２種類を選択できます。
○ 車速が約20km/hに達すると自動でドアをロックする車速ロック機能を搭載しています。
○ 車速ロック機能は本体DIPスイッチでON/OFF可能です
○ 車速ロック機能のアンロック条件を本体DIPスイッチにより「ギアのPポジション」または「イグニッションOFF」より選択可能です。

■取り扱い方法

○ ギアをR（リバース）にすると警告音を発します。（コントローラーのDIP SW3によりバックアラーム機能をオフしている場合には警告音は鳴りません。）
○ 車速が20km/hに達すると自動でドアをロックします。（コントローラーのDIP SW4により車速ロック機能をオフしている場合にはロックしません。）
○ 急激な減速を検知した場合には自動でアンロックします。
○ バックアラームを停止したい場合にはキャンセルスイッチを押してください。スイッチ部のLEDが点灯しアラーム音が一時的に停止します。アラーム音の停止中はスイッチ部のLEDが点灯します。
○ キャンセルスイッチにより一時的に停止されたバックアラームはもう一度キャンセルスイッチを押すか、エンジンを再始動することで復帰します。

■取り付け可能車種

○ 本製品はスマートキー付きの下記車種に取付可能です。下記リスト以外の車両へは取付しないでください。リスト以外の車両へ取付を行うと、車両または本製品の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。

メーカー	車　名	型　式	年　式
トヨタ	プリウス（PHV含む）	ZVW30系（ZVW35系）	09年　5月～(12年１月～)
トヨタ	プリウスα	ZVW4#W系	11年　5月～
トヨタ	アクア	NHP10系	11年 12月～
トヨタ	SAI	AZK10系	09年 12月～
トヨタ	カムリハイブリッド	AVV50系	11年　9月～

■主な仕様

定　格　電　圧	DC +12V
作　動　電　圧　範　囲	DC +9V　～　DC+18V
消　費　電　流	約 4.5mA以下（待機時）
動作周囲温度範囲	-25℃　～　+85℃ (結露無き事)

注意！
コントローラーは防水・防滴仕様ではありません。水分・油分などが浸入すると、車両または本製品の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので水分・油分が浸入する可能性がある場所への設置は絶対にやめてください。

《保証・無料修理規定》

1: 本製品の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
2: 取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、お買い上げの販売店にて無料修理いたします。 ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。
3: 保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、製品と本書をご持参の上お買い上げの販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付してください。
4: ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。
5: 本製品は持ち込み修理品です。製品をお送りいただく際の送料および取りはずし、取付費用は、お客様のご負担となります。
6: 保証期間内でも次の場合は有償となります。
- ●製品内への水・油分、ホコリなどの異物の混入による故障及び損傷
- ●使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
- ●不当な修理、改造による故障及び損傷
- ●お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
- ●火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
- ●指定車両以外に使用された場合の故障及び損傷
- ●自動車事故による故障及び損傷
- ●本製品の盗難
- ●本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
- ●本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合

7: 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warrenty is valid only in Japan)
8: 本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

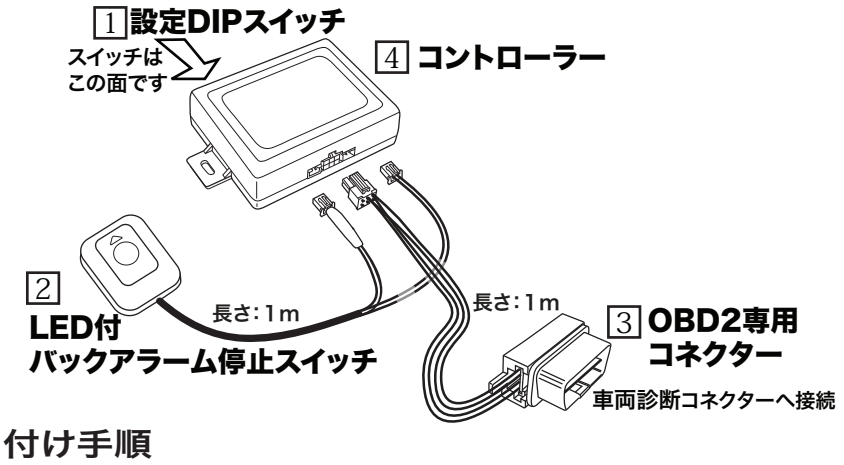
ご注意

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、お買上げの販売店へお問い合わせください。

各記入欄に必要事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認ください。万が一記入漏れ事項がある場合は、直ちにお買上げの販売店にてお申し付けください。

■製品構成および接続の流れ



■取り付け手順

1 機能の選択
・ご希望の機能をDIP SWで設定します。

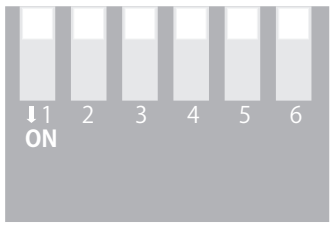
2 LED付バックアラームキャンセルスイッチを設置します。
・操作しやすい場所に付属の両面テープを使って貼り付けてください。

3 OBD II専用カプラの接続
・専用OBDカプラを差し込みます。

4 車両信号の認識
・DIP SW6の下げ-上げにより車両信号を認識させます。

手順1 コントローラーDIPスイッチの設定

コントローラー(コネクタのある面の反対側)にあるDIPスイッチを必要に応じて設定します。
(工場出荷時はすべてOFFに設定されています。)



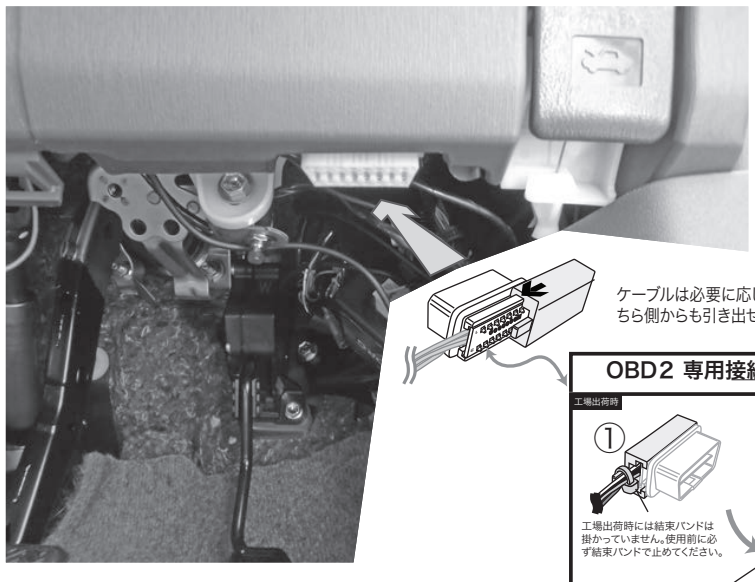
※ スイッチは各スイッチ番号から遠い側の位置がOFFとなります。

DIP SW SW番号	機能設定内容
SW1	使用しません。さわらないでください。(OFFで使用)
SW2	バックアラーム音の設定 [OFF = 短音 / ON = 長音]
SW3	バックアラーム機能の入／切 [OFF = バックアラーム機能オン / ON = バックアラーム機能オフ]
SW4	車速ロック機能の入／切 [OFF = 車速ロック機能オン / ON = 車速ロック機能オフ]
SW5	アンロック条件の選択 [OFF = Pポジションでアンロック / ON = イグニッションOFFでアンロック]
SW6	車両への取付時(初回のみ)に使用(通常はOFFで使用)

手順2 LED付バックアラーム停止スイッチの設置

スイッチ操作が行いやすく、LEDの確認も行いやすい場所に設置します

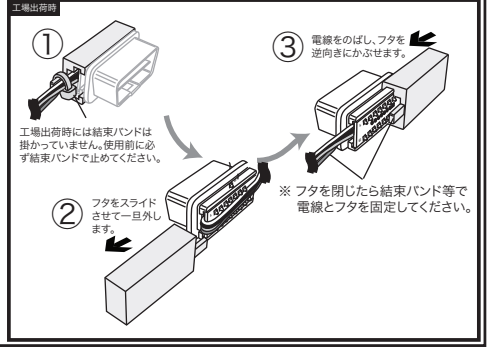
手順3 OBD II専用カプラの接続



ケーブルは必要に応じてどちら側からも引き出せます。

写真の位置にある診断カプラへ接続します。

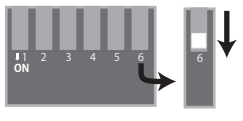
OBD2 専用接続カプラの電線引き出し方法



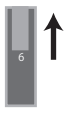
手順4 車両信号の認識

コントローラー(カプラのある面の反対側)にあるDIPスイッチ6を使用して、車両の通信信号をHV-300に認識させます。

❶
車両のIGスイッチをON位置にします。

❷ 

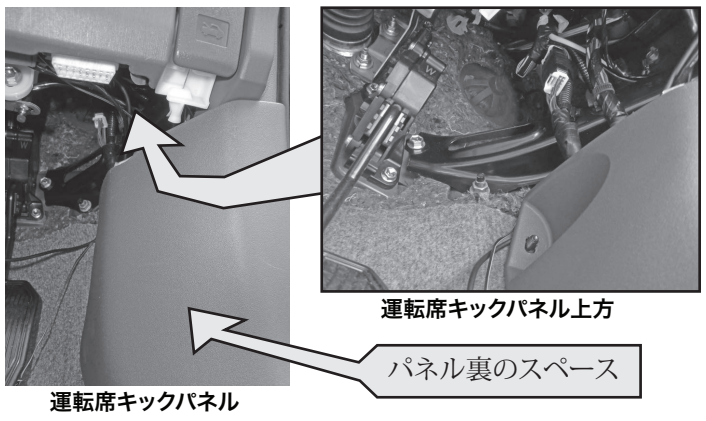
DIPスイッチ6番をONにします。
・キャンセルスイッチ部のLEDが数回点滅し、消灯します。

❸ 

DIPスイッチ6番をOFFに戻します。

手順5 コントローラーの設置

取付手順１～３が終了したらコントローラーを運転の邪魔にならない場所に納めて、取り付け完了です。



左図がコントローラ推奨設置場所です。空いたスペースに結束バンドを使用して固定してください。

重要!:コントローラーを設置する際は、車両の機器と干渉したりそれら機器に影響を及ぼすような場所には行わないでください。

注意!: コントローラーは防水・防滴仕様ではありません。コントローラーは水や油等がかからない場所に設置してください。水分・油分などが浸入すると車両または本製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性がありますので水や油等などがかかる可能性のある場所への設置は絶対にやめてください。
また、接続ハーネスをエアコンダクトに固定しないでください。結露により発生した水分がハーネスをつたってコントローラーに浸入する恐れがあります。